

## 別のインスタンスのデータベースで作成した実行計画を、異なるデータベースの SPM の「SQL 管理ベース」へ登録（保存）する方法

⇒ 違うデータベースの実行計画を【移行】させて、SQL 文の処理を行わせる方法

### 手動登録

（作成済みの実行計画を SQL 計画ベースラインへ個別に登録する操作方法）

5) 別のインスタンスのデータベースで作成した実行計画を、異なるデータベースの SPM の「SQL 管理ベース」へ登録（保存）する方法

#### 【概要手順】

1. [移行元] SPM (SQL Plan Management) の SQL 計画ベースライン (承認済実行計画) をステージング表 (テーブル) にパックする
2. [移行元] ステージング表をデータポンプエクスポートにて、ダンプファイルに出力する
3. [移行先] ステージング表をデータポンプインポートにてダンプファイルから取り込む
4. [移行先] SPM (SQL Plan Management) の SQL 計画ベースライン (承認済実行計画) をステージング表からアンパックする

## 【詳細手順】

1. [移行元] SPM (SQL Plan Management) の SQL 計画ベースライン (承認済実行計画) をステージング表 (テーブル) にパックする
  - 1-1. 空のステージング表 (テーブル) を作成する
  - 1-2. 登録済みで有効なすべての SPM (SQL Plan Management) の SQL 計画ベースライン (承認済実行計画) をステージング表 (テーブル) にパックする
  - 1-3. ステージング表 (テーブル) にパックされたことを確認する
  
2. [移行元] ステージング表をデータポンプエクスポートにて、ダンプファイルに出力する
  - 2-1. 利用可能なディレクトリ・オブジェクトを確認する
  - 2-2. ステージング表 (テーブル) をエクスポートする
  - 2-3. ステージング表 (テーブル) を削除する
  
3. [移行先] ステージング表をデータポンプインポートにてダンプファイルから取り込む
  - 3-1. ダンプファイルを移行元サーバーから移行先サーバーへ移動もしくはコピーする
  - 3-2. ステージング表 (テーブル) をインポートする
  
4. [移行先] SPM (SQL Plan Management) の SQL 計画ベースライン (承認済実行計画) をステージング表からアンパックする
  - 4-1. ステージング表 (テーブル) から SQL 計画ベースラインをアンパックする
  - 4-2. SPM (SQL Plan Management) の SQL 計画ベースライン (承認済実行計画) が移行できたことを確認する
  - 4-3. ステージング表 (テーブル) を削除する

## 【詳細手順 実操作】

### 1. [移行元] SQL 計画ベースラインをステージング表（テーブル）にパックする

#### 1-1. 空のステージング表（テーブル）を作成する

SPM (SQL Plan Management) の SQL 計画ベースライン (承認済実行計画) を保存するために、新規の表 (テーブル) を作成する

※ 表名とスキーマ名は、任意でよい

```
begin
  dbms_spm.create_stgtab_baseline(
    table_name => '<表 (テーブル名) >',
    table_owner => '<スキーマ名>' );
end ;
/
```

#### 1-2. 登録済みで有効なすべての SPM (SQL Plan Management) の SQL 計画ベースライン (承認済実行計画) をステージング表 (テーブル) にパックする

1-1. で作成したステージング表 (テーブル) に、SPM で管理している SQL 計画ベースラインを登録 (パック) する

```
set serveroutput on
declare
  ret number ;
begin
  ret := dbms_spm.pack_stgtab_baseline(
    table_name => '<表 (テーブル名) >',
    table_owner => '<スキーマ名>',
    enabled => 'YES');
  dbms_output.put_line(' Packed : ' || ret) ;
end ;
/
```

1-1.で、新規作成された表名

実行結果

Packed : 205 ※ 登録されていた SQL 計画ベースラインの個数が戻り値として表示されます

#### 1-3. ステージング表 (テーブル) にパックされたことを確認する

```
select count(*) from <スキーマ名>.<表 (テーブル名) > ;

count(*)
-----
205
```

2. [移行元] ステージング表をデータポンプエクスポートにて、ダンプファイルに出力する

2-1. 利用可能なディレクトリ・オブジェクトを確認する

```
select DIRECTORY_NAME, DIRECTORY_PATH
       from dba_directories ;
```

DIRECTORY_NAME	DIRECTORY_PATH
DATA_PUMP_DIR	/disk1/oracle_output/datapump/



2-2. ステージング表（テーブル）をエクスポートする

```
$ expdp system tables=<スキーマ名>.<テーブル名>
       directory=<ディレクトリ・オブジェクト名>
       dumpfile=<ファイル名>.dmp
```

2-3. ステージング表（テーブル）を削除する

```
drop table <スキーマ名>.<テーブル名> ;
```

3. [移行先] ステージング表をデータポンプインポートにてダンプファイルから取り込む

3-1. ダンプファイルを移行元サーバーから移行先サーバーへ移動もしくはコピーする

2-2.で作成したファイルを、移行先サーバーへコピーする

```
copy <file名> ¥¥サーバー名¥共有名¥ディレクトリ名¥ファイル名
```

3-2. ステージング表（テーブル）をインポートする

3-1.でコピーしたファイルを使って、移行先サーバーへ表（テーブル）を取込む

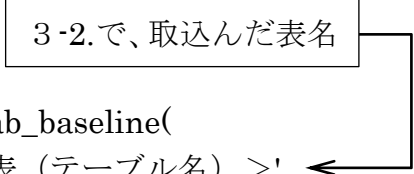
```
$ impdp system tables=<スキーマ名>.<テーブル名>
       directory=<ディレクトリ・オブジェクト名>
       dumpfile=<ファイル名>.dmp
```

4. [移行先] SPM (SQL Plan Management) の SQL 計画ベースライン (承認済実行計画) をステージング表からアンパックする

4-1. ステージング表 (テーブル) から SPM (SQL Plan Management) の SQL 計画ベースライン (承認済実行計画) をアンパック (登録) する

3-2. で取込んだステージング表 (テーブル) を使って、SPM (SQL Plan Management) の SQL 計画ベースライン (承認済実行計画) へ、実行計画を登録する

```
set serveroutput on
declare
  ret number ;
begin
  ret := dbms_spm.unpack_stgtab_baseline(
    table_name => '<表 (テーブル名) >',
    table_owner => '<スキーマ名>',
    enabled => 'YES' );
  dbms_output.put_line(' Unpacked : ' || ret) ;
end ;
/
```



実行結果

Unpacked : 205 ※ SPM の SQL 計画ベースラインへ取込んだ件数が戻り値として表示されます

4-2. SPM (SQL Plan Management) の SQL 計画ベースライン (承認済実行計画) が移行できたことを確認する

4-1.の作業確認のために、SPM (SQL Plan Management) の SQL 計画ベースライン (承認済実行計画) に登録された実行計画の件数を表示する

```
select count(*) from dba_sql_plan_baselines ;

count(*)
-----
      205
```

4-3. ステージング表 (テーブル) を削除する

3-2. でインポートしたステージング表 (テーブル) を削除する

```
drop table <スキーマ名>.<テーブル名> ;
```